

実践記録

学校/学年	小学校 / 6 年	
教科等：単元名	理科：著作権「著作権の基本を知ろう」	
キーワード	著作権 調べ学習 レポート作り	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	b：情報に関する自分や他者の権利を尊重する
	中目標項目番号 中目標項目内容	b3-1：情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔理科室〕 その他〔 〕	
学習の目標	著作物に対する意識を高め、利用する際には許諾を得るなど、正しく利用しようとする態度を育てる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶ Net モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶ Net モラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1 レポート作りを始める前に著作権について学ぶことを知る。 2 5つの「もんだい」を見て正解だと思う方に をする。	・ 本時の授業内容と著作権について問題意識を持たせる。 ・ 5つの「もんだい」を先に提示し、興味付けとする。
展開	3 教材「著作権とは」「著作権を守る」「著作物を使うとき」を視聴し、ワークシートに分かったことや気をつけたいことをメモする。 4 「もんだい」の解説も視聴する。	・ インターネットで調べたことは、引用するのであって、自分の考えはきちんと文章に表すよう気をつけさせる。 ・ 調べてまとめたことについては、出典を書き込ませる。
おわり	5 学んだことを生かして、地震・火山レポート作りに取り組むことを確認する。	・ 著作権を大切にし、著作者の活動を守ろうとする意識を持たせる。

授業の成果

- ・ インターネットを用いた調べ学習のまとめとして、レポート作りをする際に事前にこの事例を学習することで、調べたことをそのままレポートするのではなく、引用として利用し自分の考えを丁寧に表現したレポートが多く見られた。

指導のポイント・留意点

- ・ コンピュータや情報通信ネットワーク、書籍などを活用した調べ学習やまとめの際に、著作物をどのように扱ったらよいか、まとめた作品が著作権に触れることはないか確認する。
- ・ 自分で作ったレポートの中に他者の著作権と自分達の著作権があることを確認する。調べてまとめたことを発信する場合、著作権が大きく関係することを学習する。